



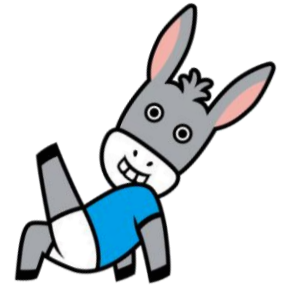
自己評価

事業所向け放課後等デイサービス自己評価の
令和元年度の結果を公表します。

放課後等デイサービスガイドラインに沿ってより良い支援を行っていきけるよう、
自己評価結果や保護者等アンケート結果をもとに、支援の資質向上に努めていきます。
これからもスポーツひろばプレイスをどうぞよろしくお願いいたします。

.....

スポーツひろばプレイス高田馬場教室



	チェック項目	状況
環境・体制整備	利用定員と指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	法令を遵守しています。特に運動場面では種目に合わせ適宜検討し、最適なスペース確保に努めています。
	職員の配置数は適切であるか	法令の配置数に加えて、常勤換算で児童指導員等を1名以上配置しています。教員免許保有者など専門性の高い職員の配置に努めています。
	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされているか	出入り口に階段がありますが、合理的配慮として玄関やホームページに介助可能の掲示を行っています。事業所内はバリアフリーです。
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	定期的にミーティングを行い、職員全員で目標などの共有や検証、振り返りをしています。
	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	年に1回程度アンケートを実施し、職員全員で昨年度と比較検討などを行い、現状や課題点の把握、業務改善につなげています。
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公表しています。また、ホームページで公表していることを会報で周知しています。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は現在実施していませんが、実施している他事業所と情報交換を行うなどしながら検討しています。
	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1ヶ月の初任者研修を行っています。年間計画を立て、定期的に研修・授業研究を行ったり外部研修に参加したりしています。また運動指導の実践研修を月2回以上行っています。
適切な支援の提供	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス放課後等デイサービス計画を作成しているか	面談を行ったうえで計画を作成しています。また、発達検査の結果や就学支援シートなどを提出してもらい、分析して対応を工夫するなど日々の支援に繋がったり、放課後等デイサービス計画を作成する際に役立てたりしています。
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	プログラムの立案はチームで行い、また固定化しないよう工夫しています。月ごとに内容確認・模擬授業を行い、検討しながらプログラムを組んでいます。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	
	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	休日や長期休暇などで利用時間が変わる際には、一人ひとりの児童に対し、療育効果が上がるようプログラムを工夫しています。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	児童の状況に合わせて、個別・集団活動を検討し計画を作成しています。また目標に合わせて集団の規模を変えプログラムを行っています。
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日必ず、支援開始前に職員全員で事前打ち合わせを行い、児童や支援内容の情報共有などを行っています。シミュレーションを行い、質の高い支援が提供できるようにしています。また支援終了後には一日の振り返りを必ず職員全員で行い、当日の支援の共有と次回の支援の検討・修正などを行っています。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	必ず記録をとり職員間で共有し、より良い支援につなげるよう努めています。月、半年、年間などの振り返りも行っています。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に1回以上ケース会議を行い、計画の見直しや現状・課題の把握をしています。
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	柔軟に組み合わせて支援を行うよう努めています。季節に応じた題材や、豊かに表現するプログラムを取り入れたりしています。	

関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童の状況に精通した職員が必ず参画しています。また、参画前後は事業所内でもケース会議などを行って情報共有をしています。
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	必要に応じて適宜行っています。個別計画や通知表などを用い、学校での様子を把握しています。また教員の事業所見学を受け入れたり、指導員が学校に児童の様子を見学に行ったり学校公開に参加したりして、児童の情報共有を行っています。
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要な児童の場合には、入会前に保護者や主治医等と話し合い、受け入れが可能か検討をします。
	就学時前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	必要・依頼に応じて、情報を共有・提供します。また、日頃から就学時前・学校卒業後の関係機関と関わる機会を大切にし、積極的に関わり情報交換などができるように努めています。
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	研修の知らせがあった場合は積極的に参加しています。また、新宿区の職員相互研修に毎年参加しています。
	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	今のところ交流の機会はありませんが、利用児童や保護者または地域からの要望などに応じて検討していきます。
	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	積極的に参加し、横のつながりを大切に考えています。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	事業所での様子を常時伝えていきます。また見学や面談も行っています。学校や家庭での課題や成長についても共有しています。
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	必要に応じて、個別に支援を行っています。また、対応方法などを事業所外でも活かせるように具体的に伝えることを常に心がけています。	
保護者への説明責任等	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	初回面談時に説明を行っています。常に掲示し、必要に応じて何度でも説明を行います。変更があった際には変更内容を交付しています。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	面談やメール、連絡帳などで相談に応じたり、活動の様子を一緒に確認しながら助言を行ったりしています。
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在は保護者会等は行っていませんが、希望調査を行うなどして、必要に応じて検討していきます。
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情窓口を設け、周知しています。苦情があった場合は苦情解決の流れに沿って迅速に対応します。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月に1回、活動の様子や内容、お知らせなどについての会報を発行し、保護者に交付しています。
	個人情報に十分注意しているか	個人情報には鍵付き書庫に保管しています。また職員に定期的に注意喚起し十分注意しています。
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	随時、指示や伝えたい内容を口頭だけでなく視覚的にも示すなど、伝わりやすい方法で行っています。
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	保護者の要望等に配慮し、現在招待等は行っていません。	
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルを策定し、研修を行っています。また、すぐに確認できる場所に常時置いています。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年に2回、避難訓練を実施しています。令和元年度は5月と2月に実施しました。様々なシチュエーションで行うなど工夫して行っています。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止の研修会等に参加し、防止に努めています。また、掲示物等でも周知しています。内部研修も適宜行っています。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	初回面談時に説明し、必要に応じて面談を行い個別支援計画等にも記載しています。
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アレルギーの有無を把握し、アレルギーのある児童については家庭と連携し対応しています。
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例集を作成して共有し、事故防止に努めています。また、振り返りを行って改善されたか確認もしています。